

# 平成27年第4回東大和市議会建設環境委員会記録

平成27年7月23日（木曜日）

---

## 出席委員（7名）

委員長	佐竹康彦君	副委員長	根岸聡彦君
委員	森田真一君	委員	実川圭子君
委員	関田貢君	委員	関田正民君
委員	木戸岡秀彦君		

## 欠席委員（なし）

## 委員外議員（なし）

## 議会事務局職員（5名）

事務局長	関田新一君	事務局次長	長島孝夫君
議事係長	尾崎潔君	主任	櫻井直子君
主事	須藤孝桜君		

## 出席説明員（なし）

## 会議に付した案件

- (1) 所管事務調査の進め方について

午前 9時27分 開議

○委員長（佐竹康彦君） ただいまから平成27年第4回東大和市議会建設環境委員会を開会いたします。

○委員長（佐竹康彦君） 所管事務調査の進め方について、本件を議題に供します。

前回の委員会におきまして、1、自転車対策について、2、都市計画道路整備事業の促進について、以上2件の所管事務調査について決定いたしました。

本日は、今後具体的にどのような形で調査を進めていくか御協議をいただきたいと存じます。

本日、7月17日までに委員の皆様からいただきました所管事務調査の進め方についての御意見等を机上配付させていただきました。つきましては、御提出いただきました委員の方から内容について、順に説明をお願いいたします。

順次、私のほうから指名をさせていただきます。

まず、関田 貢委員より御意見いただきますよう、よろしくお願ひ申し上げます。

○委員（関田 貢君） 私の方から、都市計画道路整備事業の促進についてということで、幹線道路9路線、区画街路路線2路線についての以下の資料を要求するというので、この道路の問題については、この道路計画と都市計画は百年の計画を立ててやらなければなかなか難しい事業であるということを思いまして、私が議員にならせていただいて、都市計画道路の進捗ということについては、なかなか市民の理解が得られない、土地買収という土地絡みがあると。ですから、私はそういう土地買収という財産の問題にかかわる問題は、広く市民の目線と議会の目線が一緒の目線にならないと、この事業は進められないのかなということをもちましてです。今回は議員も新たになったこの時期に、もう一度都市計画道路の現況を、これは補助金事業ですから、国や都の補助金が大きく左右されますので、そういう補助金事業でカットされ、事業がおくれているという時代もありました。ですから、そういうことも再度確認をしながら、今が都市計画は清水の武蔵大和駅周辺、あるいは芋窪の村山から来る都市計画道路とって、南街の桜街道が東京都の事業が計画されながら、予算がつかないということで、後追的なことになっていると。そういうのが現状認識からすると、一番交通量を要求される新興住宅が桜が丘にあれだけ大きな団地ができたにもかかわらず、そういう都市計画道路が一体になって促進されないということについての市民からの声と、我々がまちづくりにもう少し強力に進めてはいけない時代と、そういうミスマッチが起き過ぎるんじゃないかということを心配して憂いて、今の問題を提案した次第です。

以上、簡単ですが、こんな程度で質疑していただければありがたいと思っています。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

委員のほうで出されました資料要求することにつきましては、こちら資料要求することによってよろしいでしょうか。

ありがとうございます。

続きまして、実川委員、よろしくお願ひ申し上げます。

○委員（実川圭子君） それでは、私が上げさせていただいたのは自転車対策についてと、それから都市計画道路の整備事業の促進についてなんですが、自転車対策については、いろいろなところから情報がありまして、1つは京都市自転車安心安全条例というのが、これは本も出版されているようなんですが、議員提案でそれをつくっていったということで、私もまだ読んでないんですけども、そういったところを参考にして、委員会提

案で、そういうところまでできたらいいのかなというふうに考えています。

それから、そこに日付が書いてあるんですが、昨日7月22日「自転車まちづくりに活かす」講演ということで、こういう自転車の力でまちづくりというようなものを、きのう府中市のほうで開催したのに行ってきました。主催は公益財団法人の東京市町村自治調査会ということで、行政職員の方が中心のようなんですけども、議員さんもたくさん来ていたりして、自転車とまちづくりに関する調査をして、その報告会のような形だったんですね。自転車でまちづくりをしていこうということで、特にきのうの発表は多摩地域で多摩・島嶼地域で活用がどういったことが図られるかということがテーマだったので、非常に今回の私たちの取り組みに参考になるかなというようにたくさんありました。

たくさんお話ししたいんですが、印象に残ったこととしては、多摩地域で1週間に1回以上、自転車を利用している方というのが50%ぐらいいるというような調査結果が出ていて、それが若い人もそうなんですけれども、65歳以上の方も四十何%でしたけれども、半数近く週に1回以上は自転車を使っているということがわかって、もっといろんなことができるんじゃないかということでした。

それから、自治体で進めるときに、駐輪場の問題とか、あとルールの問題とかで抑制するような動きと、あとは促進するような動き、活用しようという動きがバランスがうまくとれないとなかなか難しいので、そのバランスをうまくとるような対策をしていったらいいんじゃないかということでした。

それから、一番中心は金沢市の方の話があったんですけども、金沢市は本当にすばらしいまちづくりの中に自転車を入れようということで、道路表示に今東大和でもナビマークがついていますけれども、そういったことをたくさん狭い道路にでも、それをどんどん進めていって、それとあとはそれに街頭に立ってボランティアさんが、それを守ってやるんだよということを、あわせてやっていて実際に自転車に関する事故を減らしていったという成果も出ていたので、金沢市には私のところに書いてないんですが、金沢市にはぜひ視察に行きたいなというふうに思いました。

事故のことなんですけども、きのうの説明ですと交通事故の35%ぐらいは自転車絡みだというような説明があって、あと交通事故でもなかなか申請しない人もいるので、そういうところも含めると、かなりの数が自転車の事故というのものもあるんじゃないかということだったので、そういったところがなかなか警察と市の問題で、その情報の連携というのが、黙っていたらなかなか情報が入ってこないということだったので、東大和の自転車絡みの事故の状況なども聞けたらなというふうに思っています。

あと活用のことについては、健康増進とか、あとは観光、自転車を使ったツーリングで今都内のほうで外国人向けに1日ツアーで1万円で都内を自転車で回るのが、すごく外国の人に受けているらしくして、多摩地域でも、そういうことができないかというような話があったんですけども、東大和、せっかく自転車道路などもありますので、そういった話も観光と、あと健康のためにということの視点で、何か活用ということが提案できるようなことになればいいなというふうに思いました。

それで、きのうの大まかな報告でして、それからあと私の書いた資料では、25、26日は「まちで学ぼう やさしく走ろう 親子でりんりんツアー」と、これは国立で時々やっているらしいんですけども、市内を一緒に回って、ルールを確認したりとか、ここはどういうふうになっているというようなことを、実際に走りながら見ていくというようなことをやっているそうです。

それから、28日は地域科学研究会というところで、自転車交通計画のハードとソフトというような講演などもあるようなので、私はこれに参加してこようかなというふうに思っています。

視察先としては、市内の駐輪場の状況とか、あと先進的な駐輪場を使っているエコサイクルという地下に駐輪場を持っているような八王子市とか行けたらなと思います。

それから、最初に説明した議員提案の条例をつくった京都市ですとか、きのうの説明を聞いて、ぜひ金沢には行ってみたいなというふうに思います。

調査項目について、駐輪場ですとか、ナビマーク、それからサイクリングロードの整備とか、レンタサイクルなどの活用を調査しながら、先進市の調査をしながら、東大和でどのようにできるかということをやっている方がいいかなと思います。

自転車については以上です。

それから、都市計画道路の整備については、先ほど非常に長期にかかるというようなお話があったと思いますが、現状も計画がある場所に、どんどん家なども建っているようなのが現状だと思いますので、本当にここに道路をつくるには、一体どれだけコストがかかるのかというのが私は非常に心配になり、またそこを土地を買い上げて、そこに道路をつくるには一体どれくらいコストがかかるんだろうというのが、本当に素朴な疑問ですので、現時点でもどれくらいかかるのか、それでそれが本当に現実的な数字なのかというのを把握するためにも、そのあたりを調べるというか、聞けたらなというふうに思っています。

以上です。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

それでは、最後に委員の1人として私のほうから出させていただいた資料について、述べさせていただきたいと思います。

まず、自転車対策についてでございますけれども、調査事項といたしまして、何点か上げさせていただきました。東大和市自転車等の駐車対策に関する総合計画、この進捗状況について、まず説明を求めて、皆様で議論できたらどうかということ。

また、市内駅前駐輪場の混雑解消に関する問題、先ほど実川委員もおっしゃっておられた点です。

あと、これもおっしゃっておられたんですけども、自転車が走行しやすい道路の整備についてということで、自転車専用レーンですとか、歩道上の自転車通行について。

また、道路交通法改正に伴う交通ルールの周知方法にということで、先ほどの事故の状況ということにも関連するかと思います。交通安全対策という観点から、同じような内容のものでございます。

また、自転車走行に関する教育現場での対応ですとか、またその安全対策、特に子供、高齢者について、これも全て交通事故の問題ですね。

あと、自転車を活用したまちづくりについてということ。

また、自転車安全利用促進条例の制定についてということ。これは、実川委員と今ほぼ同じような内容で恐縮なんですけれども、一応出させていただきました。

ちょっと、進め方等については、またあとで御議論させていただくといたしまして、視察先につきましても、何点か上げさせていただきました。これ全てということではなくて、この中から1つ、ないし幾つかということを出させていただいております。

まず、日帰りについてなんですけれども、当然東大和市内の駐輪場の現状について確認をしたいなというふうに思っております。ただ、今7月、8月は夏休みに入っております、会社も休みだったり、学校も休みだったりしますので、できればこういった市内の駐輪場については、9月以降、夏休み明けたほうがいいの

かなというのが、私今思っているところでございます。

あとは、東村山市も駅前駐輪場対策、最近したということでございまして、近隣ということで上げさせていただきます。

あとは、実川委員と同じように八王子が非常にいい対策をされているということで、これもぜひ私も拝見させていただければなというふうに思います。

また、江戸川区につきましては、総合自転車対策ということで進めておりまして、こちらもちよっと規模等違うんですけども、1つの先進事例として見ていけたらなと思いました。

あと、豊島区、板橋区については、社会実験で官民協働の自転車が走るまちづくり社会実験というのをやったということで、その状況がもしわかるようでしたらと思って上げさせていただきます。

また、鎌倉市においては、これも市議会のほうで超党派の政策法務研究会が中心となりまして、自転車安全利用促進条例、これを制定したということで、この条例の制定に関して、近隣でということで見つけましたので、これも一応候補に上げさせていただきます。

また、利用促進に関する対策として川崎市ということでございます。

今度は、宿泊を伴う行政視察として、今おっしゃっていただきました金沢市、大変非常にいい対策が観光の点についても、またまちづくりの点についても進んでいるということでございましたので、これどうかなと上げさせていただきます。

また、北陸関係で七尾市ですとか、富山市、こういったものも上げさせていただきます。

また、おっしゃるように自転車条例、これも京都市のほうでということでございましたので、これも上げさせていただきます。

また、現在東近江市になっておりますところが、自治体第1号の自転車都市宣言というものがなされた地域でございまして、これが四十数年前ということでございましたので、これも候補に上げさせていただきます。その関連ということで、滋賀県の草津市も自転車の安全利用に関する提言。

また、それ以外の地域で盛岡市、高松市等も上げさせていただきます。

また、下に自転車安全利用条例については、以下のような地域で制定、もしくは取り組みをされているということで、幾つか上げさせていただきます。近隣ですと、三鷹ですとか、板橋区、またさいたま市等、またちょっと離れますと市川市、厚木市です。あと浦安市、あとは当然京都市ですとか、盛岡市等、府中市もございましたね。そういったものがあるということで、ちょっと上げさせていただきます。

次に、都市計画道路整備事業の促進についてということで、調査項目、多摩地域における都市計画道路の整備方針（第三次事業化計画）、この進捗状況と成果について、今関田 貢委員、また実川委員もおっしゃっておられましたコストの面も含めて、こういった進捗状況について、多摩全体とあわせて特に東大和市の現状と成果について伺えればなと思いました。

また、第四次計画、委員の皆様のお手元にもお配りされているかと思っておりますけれども、この事業化計画を今策定中の中間まとめをお配りされているかと思っておりますけれども、この内容についても同様な形で伺えればなというふうに思いました。

また、都市計画道路整備における基本目標を4つあるそうでございますけれども、それぞれの展開について、多分計画の内容を聞く中で出てくることだとは思いますが、これも聞いてみたいなと思いました。

また、都市計画道路の見直しということについては、行政側はどのように現段階で考えているのかというこ

とも、ちょっと伺いたいなというふうに思いました。

また、進め方は後でということで、視察先、当然これは東大和市内の都市計画道路に関しまして、現状、今関田 貢委員のほうからも種々、場所を上げていただきましたけども、そういった地域をぜひ委員の皆様で現状把握させていただければなというふうに思いました。

また、市内の都市計画道路の状況を見ればいいのかなどは思ったんですけども、それ以外であればということで、近隣の道路の状況どうなのかですとか、また東京都の都市整備局のほうにも、ちょっと出向いていく必要もあるのか、ないのか、こちらもちょうと皆様で御検討いただければなと思って上げさせていただきました。

また、行政視察、行くとしたら、宿泊なんですけれども、伊丹市のほう、兵庫県のほうになりますけれども、都市計画道路整備プログラムというものがあつたということで、上げさせていただきました。

一応、さまざま項目、全てということではなくて、この中で幾つかできればなと思って上げさせていただきましたので、ちょっと御参考までと思っております。よろしく願い申し上げます。

説明が終わりました。

それでは、ただいまの説明に対しまして、質疑、御意見等ございましたら、お願い申し上げます。

特に、ございませんでしょうか。

それでは、今3人の委員が上げた中以外にも、ほかに特に質疑ですとか、また御自身の対策に関する御意見等ございましたら、ぜひお述べいただければなと思いますが、よろしく願い申し上げます。

○委員（木戸岡秀彦君） 今さまざまな形でお話をさせていただきましたけれども、私がちょっと気になっているのが、たまたま6月、この1カ月、私の地域で4件の自転車事故があつたんですね。たまたま1カ月に4件で、そして小学生、中学生、主婦2人という形で、たまたま私が近くにいたものですから、その3件に立ち会つたんですけども、そういった部分では、それは氷山の一角で東大和市内では、かなりそういった部分での事故等も多いのかなというふうに感じるんですけども、まず東大和市の現状をしっかりと知つた上で、そういった視察といいますか、そういった対策が大事じゃないかなと、こちらの管轄ですと東大和警察ですけども、この前1年間なら1年間の間で自転車に対する事故だとか、さまざまそういうことが起きたのかどうか。どういう状況なのか、傾向性が見えてくるかもしれませんので、それによってまた見方が変わってくると思いますので、その点をひとつ見ていただきたいなと思います。

以上です。

○委員長（佐竹康彦君） それでは、ほかに。

○委員（実川圭子君） また、ちょっときのうの話なんですけど、いろんなことをやるのに、まずポイントを絞つて段階的に進めたほうが良いというような話がきのうも出ていまして、何のためにこれをやるのかということ、まず共通目標というか——持ったほうが良いと思うんですけども、私はやはり今木戸岡委員がおっしゃつたように、事故をなくして安心・安全に自転車を活用できるということが、やっぱり一番ポイントだと思いますので、そこの状況を調べて、それをいかに減らしていくためには、どういう対策ができるかというようなことが、まず一つなのかなというふうに思います。それに付随して、健康とか、まちづくりというのは、またいろいろ話が出てくると思いますので、まずは安全ということを中心に進めていったらいいかと思います。

○委員（森田真一君） 私のほうでも、この間、自転車にまつわつて市民の方から御相談いただいたケースが、視覚障害者の方が点字ブロックの上に駐輪されて困つているとか、あと車椅子の方なんか、やっぱりすれ違

いざまに危険な目に遭ったりとか、そういう歩行者との関係、特に弱い歩行者との関係での安全ということも含めて、調査の中に入れていただきたいということが、まず一つと、それから私以前に自転車保険の取り扱いなんていうことも仕事でしていたことがあったんですけども、事故の報告なんかユーザーさんから受けるときに、警察のほうでここ最近はやっとどうだかわからないんですけども、数年前なんかだと、余り車何かと比べると取り扱いが聞いておきますぐらいの感じで、正式の事故として取り扱わないというケースが結構あったんですね。そういったところから、自治体がどう思っているかということも大事なんですけど、警察のほうで現状こら辺では、どう見ているのかということも知っておくことも大事なのかなというふうに思いましたので、そういったことも含めて、勉強させていただければいいかなというふうに思っております。

以上です。

○委員（根岸聡彦君） 私自身、車も運転するし、自転車もよく使うんですけども、車を運転していて感じることは、いまだに車道を平気で右側通行している自転車が絶えないということですね。やっぱり、すぐく運転していて非常に危ないと感じる部分があります。道路交通法改正によって、車と同じ左側通行ですよということは、もうかなり前から周知されているはずなんですけれども、徹底がされていない。自転車に乗る側のモラルの問題だというふうに言ってしまったら、もうそれで終わりかもしれないんですけども、自転車を利用する人たちに、どれだけルールを守った運転をしなければいけないのかという意識が根づいているのかどうかというところもあるのかと思います。事故状況等については、警察のほうにヒアリングをすればいい話であって、やっぱり一番大切なのは自転車を利用する人たちに、どうやってそういった意識を植えつけていくのか。そのために、我々ができることは何なのかということ、自転車対策について先進市の取り組み等を勉強しに行くということは、非常に意義があるのかなというふうに思います。

あと、都市計画道路につきましては、非常に大きな問題ですので、深掘りすればするほど泥沼にはまってしまう危険性もありますので、どこかで線を引いて我々が調べていける範囲を、どこまでにするのかというところで、委員長のほうからの報告ではないんですけども、都市計画道路については第四次事業計画の内容、それから現在の進捗、将来の展望、また現在計画としてはあるけれども、もう関田 貢委員もおっしゃっていた百年の計画という中で、その計画を維持することが適切なかどうかという部分もあるかと思うんですね。そういったところの見直し、こういったところでの的を絞ってやっていったほうがいいのかというふうに思います。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。ほかに何か御意見等ございますでしょうか。

それでは、ないようですので、今いただいた件、少し私のほうで整理をさせていただければなというふうに思います。皆様の御意見、種々いただいた中で、まず自転車につきましては、まず交通安全対策と含めて、自転車をどのように安全に、また安心して利用できるのか、さまざま社会的弱者の問題、また利用者の方のモラルの問題と、また実際の事故の問題等も含めて、まず一つ大きなポイントとしては、自転車を安心して利用できる、安全に利用できる、交通事故対策も含めて、そういった安全・安心の観点からの自転車対策ということ、まずこれを調査項目の1つとして、ポイントとして上げさせていただくということで、御意見があるのかなというふうに考えております。

もう1点、自転車につきましては、健康対策ということとまちづくりということ、これも関連するかと思えますけれども、ひとつ健康、まちづくりということについて、ポイントとして上げさせていただけるのかなというふうに思います。今委員の皆様からの御意見ですと、そういった形に安全・安心の利用ということと健康、

まちづくり、この2つのポイントに分かれるのかなというふうに思います。それぞれ、先ほど私も細かい具体的な内容をちょっと上げさせていただいていましたけども、大まかこの2つに分かれるのかなというふうに思っております。ですので、これから例えば市側からの説明を求める際にも、まずは自転車の安全利用についてということで、調査を進めさせていただく場合と、あと健康、まちづくりという観点から進めさせていただく場合と、この2つのパターンに分かれるのかなというふうに思っております。

次に、都市計画道路の件につきましては、委員の皆様のご関心は多分共通されているところだと思うんですけども、やはりコストの面、これについては関田 貢委員のほうからも資料を要求するというので、具体的におっしゃっていただきましたし、また実川委員のほうからもコスト、どれぐらいかかるのかということ、これについてはやはり調査の段階で市側等にでき得る限りの説明を求めていきたい。当然、昔からの事業ですので、そういったコストの面で事細かく全てわかるのかどうかも含めまして、それも含めてコストの点は議題として議論、また調査、研究していきたいなというふうに思います。そのことも含めて、今加えて根岸委員のほうからもおっしゃっていただきましたし、まとめていただきました現状と、あと将来の展望と計画そのものの維持、適正、見直しについて、この3点について第四次事業計画の内容等も含めて進めさせていただければなというふうに思います。都市計画道路につきましては、現状を調査するという。あと、将来の展望について伺うということ。また、計画の適正、計画を維持することについての問題点等も含めて、この3点について絞られて、それぞれについて改めて調査を進めていければなというふうに考えております。

繰り返しになりますけども、自転車の問題につきましては、安全対策も含めた安全・安心の利用についてということ。そして、健康、まちづくりということ、この2つのポイント、都市計画道路については根岸委員まとめていただきましたように、コストも含めた現状ということ。そして、将来の展望について、そして計画の維持、見直し、適正についてと、この3点についてということでまとめさせて、ポイントをつけさせていただいて、調査を進めていこうかなというふうに、今私の中では、こうやった形でまとまったんですけども、これについて皆様からの御意見等、伺えればと思いますが、いかがでございましょうか。

○委員（木戸岡秀彦君） 今委員長のほうから細かくまとめていただきましたけれども、これは都政研究という自転車問題解決についてということで、東京都の自転車対策懇談会の提言ということで書かれてあるものがあるんですけども、これ自転車をめぐる3つの課題ということで、まず3つの課題として、先ほど上げました自転車による交通事故の問題、それが1点ですね。あとは、放置自転車の問題が1点。あとは、自転車の走行空間、その整備ということですね。その3つが大まかに分けて3点あるということで、今のお話だと放置自転車ということも、全体的にはかなりの問題になるのかという部分もありますので、それもつけ加えていただければと思います。

○委員（実川圭子君） 私も自転車について、安全利用と健康、まちづくりというのはいいと思うんですけども、駐輪場とか、放置自転車はどっちに入るのかなというのが、ちょっと今思ったので、そのことはやっぱり東大和でせっかく調査したのに、その後進んでないということで、私は大きな問題だと思っているので、もう一つ加えてもいいのかなと思います。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。ほかに御意見等ございますでしょうか。

○委員（関田 貢君） 今私自転車の保有台数、これを各世帯がどれぐらい自転車が例えば子供がいて、お母さん、お父さんがいたとすると3台あるとかという時代をきちっと認識して、自転車の保有台数が各家庭にどれぐらいあって、それで市が交通安全対策で500円の安全対策の保険を掛けている、そういう掛けたこととの結



びつきを私たちが、きちっと先ほども自転車事故というのは非常に多くなっているということは、皆さん認識しているみたいですから、その交通安全対策で一番安くできるのは行政がやっている保険が一番、僕は安いと思っています。ですから、そういうことを市民に知らしめるという意味で、それを私たちが世帯の自転車を持っている方が、そういう保険については遠慮しているのかどうかとか、そういうことの認識もこの際一緒に進めたらいいのかなというふうには今感じました。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。ほかに何か御意見等ございますでしょうか。

そうしましたら、今木戸岡委員、実川委員、関田 貢委員からお話いただきました。

まず、自転車につきまして、もう一つ特に駐輪場ですとか、整備について、これをもう一つ大きくトピックとして上げたほうがいいということで、そうしますと自転車につきましては、利用に関しての安全・安心に関すること、交通事故等含めたこと。また、健康、まちづくりについてということ、そして駐輪場の整備等についてということ、この3点を上げて調査項目としてポイントを絞ってやっていくということで、今御意見がありました。

関田 貢委員おっしゃっていただきました保有台数と、また保険等の関係につきましては、これは安全・安心の部分の一つ加えて進めていく。また、市側にもさまざま状況と資料等を用意していただくというようなお考えでよろしいでしょうか。わかりました、よろしくをお願いします。

そうしましたら、そういった形で自転車については安全・安心に関する項目、健康、まちづくりに関する項目、そして特に駐輪場の整備についての項目、この3つの項目を立てさせていただくということ。

都市計画道路につきましては、先ほど言いました現状と将来の展望と計画の今後の維持、見直し等について、この3項目と、こういった形でそれぞれまとめさせていただいて、順次委員会の場で調査、研究を行う、こういった形で進めていきたいと、このように今まとめさせていただきますけども、これにつきましても御意見はいかがでございましょうか。

そうしましたら、皆様からの御賛同を得られましたので、この3点の項目でまとめさせていただければなどというふうに思います。

続きまして、私からの皆様にお聞きしたいことなんですけども、それぞれ委員会を開いた際に、自転車だけの調査にするのか、それとも都市計画道路だけの調査にするのか、それとも1回の委員会で自転車と都市計画道路というふうに、2つ項目を並べて1回の委員会で、それぞれやっていくのか。こういった点については、いかがでございましょうか。例えば次回は自転車の安全・安心についてと、都市計画道路の現状についてにするのか。もしくは、次回は自転車の安全・安心について、その次が都市計画道路の現状について、またその次は自転車の健康、まちづくりについてと、こういった形にしていくのか。こういった形が皆様としても進めやすいのかとか、この点について御意見いただければなと思いますが、いかがでございましょうか。

○委員（関田 貢君） 委員長が提案しましたやり方で、例えば私たちが2年任期があるわけですから、2年任期の中で、この結論を見出せるものか、出せないものかというのはあると思うんですが、仮に2年間の時間の中であるんですから、ずっと同じものだけやっていると、片方のほうが置き去りになることがあるんで、やっぱり月ごとに、例えば月1回だったら、こっちは重点的に自転車なら自転車をやる、次は都市計画なら都市計画を重点的にやるとやったときに、現地を見て、それで本題に入る、駐輪場も何方所か見せてもらって、本題に入っていくと、そういうふうにしてお互いに交代、交代にやっていって、任期全うの中でいい結論をみんな英知を絞って、都市計画の進捗とか、自転車はこうあるべきだとか、そういうようなことを交代、交代にや

るのが今の委員長提案等でも、そういう進み方で十分、僕はいいと思います。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。ほかに御意見等ございますでしょうか。

○委員（根岸聡彦君） 基本的に関田委員と同じです。2つ一週に議題に供した場合に、委員の皆様の中に2つとも何か意見を用意しなきゃいけないのかというふうな意識が働いてしまうケースもありますので、交互に自転車を取り上げる、次は都市計画道路を上げると。ただ、その中でのもしどうしても例えば今回都市計画だけれども、自転車のことで何か特筆すべきことがあって、これだけは言いたいものがあるという人がいた場合には、そのときには発表してもらおうと。そこは臨機応変に対応していけばいいのかなというふうに思います。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。ほかに何か御意見等ございますでしょうか。

それでは、今お2人の委員の方からお話いただきました。交互に今回は自転車、今回は都市計画道路というのを原則として進めさせていただくということによろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

そうしましたら、そのように進めていければなというふうに思っておりますので、よろしく願い申し上げます。

次に、この視察に関することについてでございます。

さまざま私も含めて委員の皆様から、視察のことについて御提案もいただいております。

まず、日帰りで行ける視察について、これは当然市内の状況を見ることもございますので、それぞれの調査項目について、東大和市の現状を見るのは当然そうだと。問題は、他地域の事例を見るということで、まず自転車なんですけれども、私とあと実川委員からも上げておりました八王子の対策、同じ多摩地域で先進的な事例ということでもございますので、私、委員長としては、せっかく出ております八王子のほうに、ぜひとも行かせていただければなというふうに思いますけれども、またそのことも含めて、八王子以外のことも含めて、まず日帰りの行政視察について、東大和市とあとほか、ここがいいんじゃないかというような御意見等ございましたら、述べていただければなと思いますが、いかがでございましょうか。

○委員（関田 貢君） 今委員長言われた日帰り行政視察のことがありますので、建設環境委員会として、行政視察を例えば秋に行くといったときに、今回このテーマになった自転車の問題と、都市計画のやられているまちを挙げられた中で、この選択を大体こここが行政視察で、こういうところへ行く。近場では、今委員長が日帰りのできる八王子とか、二、三、勉強したいということであれば、行政視察では、こういうところと、こういうところ、今回は金沢市とか、七尾市が一緒だったら、ここら辺方面を行政視察に行くから、日帰りは例えば江戸川区とか、八王子とかというところが2カ所ぐらい、年間で行きたいとかという計画の中を発表されちゃって、議論していったほうがかみ合うんじゃないのかなというふうに思うんですが、違いますかね。

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

そうしましたら、この視察先等につきましては、今いただいた御意見の中で正副のほうで取りまとめて、委員の皆様にご提示するという形でもよろしいでしょうか。

〔「はい」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

そうしたら、そのように視察の件につきましてはさせていただきます。

それと、視察に関連しまして、秋の行政視察の件につきまして、日程なんですけれども、これについて皆様

に10月ないし11月になるかと思うんですが、その日程調整をさせていただければというふうに思います。行き先は正副で決めさせていただくといたしまして、この行政視察の日程等について、皆様から何か日程調整等の件で御意見等あれば、お聞かせいただければと思いますが、いかがでございましょうか。

○委員（根岸聡彦君） 10月ないし11月ということになりますと、10月は運動会があるんでしたっけ、前半が。そうすると、10月の後半になるのか。それから、11月になるとやはり産業祭、福祉祭がありますので、その後で余り遅くなると今度12月議会の定例会の関係も出てきますので、11月ということになると、正直言っちゃうと9、10、11の月、火、水、このあたりしかなくなっちゃうのかなと。10月であれば、半ばからでいくと14、15、16の水、木、金ないし、16、喜多方か、その次の週、26日以降、10月の末であれば第4週、26、7、8ないし28、9、30、ただ月末というところが受け入れ先でどうなのかというところもありますけれども、あとは皆さんの御都合が。

○委員長（佐竹康彦君） 一たん、暫時休憩いたします。

午前10時11分 休憩

---

午前10時18分 開議

○委員長（佐竹康彦君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

それでは、行政視察の日程につきましては、第1希望として日程10月5、6、7、第2希望として6、7、8で進めさせていただき、視察先につきましては正副に御一任いただくということで、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐竹康彦君） ありがとうございます。

それでは、そのように進めさせていただきます。

それでは、本日いただきました皆様からの御意見等をもとに、所管事務調査の進め方につきましては、自転車の課題につきましては、安全・安心対策、健康、まちづくり、そして駐輪場の整備、この3点の項目について、順次進めていく。そして、都市計画道路につきましては、現状と将来の展望、そして計画の維持等について進めさせていただき、このようにまとめさせて進めさせていただければなというふうに思います。

また、宿泊を伴う行政視察につきましては、先ほど申し述べました日程、また宿泊先は正副に一任させていただいて、今後この所管事務調査を進めるということで、御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐竹康彦君） それでは、そのように進めさせていただきます。

お諮りいたします。

本日の調査は、この程度にとどめたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（佐竹康彦君） 御異議ないものと認め、さよう決めます。

---

○委員長（佐竹康彦君） これをもって、平成27年第4回東大和市議会建設環境委員会を散会いたします。

午前10時20分 散会

東大和市議会委員会条例第30条第1項の規定により、ここに署名する。

委 員 長 佐 竹 康 彦